

## 「消費生活アドバイザー資格の活用情報」お寄せいただいた情報の発表

当協会では4月6日(火)～4月20日(火)の期間に、消費生活アドバイザーの皆さまが仕事や地域活動、ボランティアなどで消費生活アドバイザー資格を活用されている情報(仕事、ボランティア、自治体等での委員、学校等でのレクチャー、NACSやNPOでの活動、新聞や雑誌掲載、TV出演などなど、資格活用にかかる情報)を募集いたしました。

この募集に対してお寄せいただいた情報を、資格活用の新たなヒントや仲間づくりなどに役立てていただくことを目的に、以下発表いたします(氏名は任意表示および敬称略)。なお当協会では、お寄せいただいた情報への質問等の取り次ぎは行いません。

人事異動や転職など、仕事で消費生活アドバイザーの知識を生かすことが難しい時期もありました。現在は、NACS 埼玉分科会、コンプライアンス研究会、消費者志向推進委員会などの活動を通じて消費生活アドバイザーの知見をブラッシュアップさせています。日々の活動成果として、2019年にはNACS消費生活研究所、2021年には日本消費者政策学会への論文投稿を行いました。仕事以外でも資格を生かす場は多くあり、人脈構築にも役立っています。

**埼玉県・50代・33期・佐藤 幸夫**

長年、アパレルメーカーのお客さま相談室でお客さま対応をしてきました。定年退職を期に、現在、関東農政局の電話交換室に勤務しています。農林水産業に関する様々な施策、フードロス、SDGs、エシカル消費、スマート農業など調べるうちに日本の農林水産業の課題とそれに向けて頑張っている人達を感じることができます。どんな職場にいても、アド資格の視点から物事を見つめ直すとき、新たな発見があります。

**埼玉県・60代・19期・古井 悠美子**

現在は、通販サイト内での表示内容の違反有無を確認する仕事をしています。少しでも消費者がトラブルなく購入できる社会になれるよう努力しています。また、消費者関連の事例や知識を学んだことで、多様化する消費や契約でのトラブルへの対応の道筋をもて、自分の自信にもつながったように思います。

**千葉県・30代・32期**

合格してすぐにNACSの研究会に2つ入り、活動を15年続けています。様々な業種の方や人生経験のある方と出会い、知識を共有し合うことができ、良い刺激になっています。1人でできることは限られますが、みんなですると1+1が5にも10にもなります。仲間がいると心強いです。また資格を生かした仕事に就くこともできました。大変な思いをして資格をとりましたので、最大限に生かしていきたいと思います。

**神奈川県・40代・26期**

家電総合メーカーのお客さま相談センターでマネージャーを務めております。アドバイザーで勉強した法律知識では「メーカーの名を騙っての訪販業者に対する相談」「長年使用している家電製品に対する相談」がとても役に立っています。また、メーカーでは相談できなければ市町村役場やホットダイヤル「188」の案内をするなど適切に切り分けております。また、カタログや取扱説明書の校正などにも資格は役立っています。

**栃木県・50代・36期・岸 正樹**

消費生活相談員として仕事をするかたわら、金融広報アドバイザーの委嘱をいただいています。相談員・アドバイザーとして年間100回ほど講演を行なっています。最近では学校からの講師派遣の依頼が増えています。内容は、スマホや SNS 関連の話題、家庭科の消費者分野(契約、エシカル消費など)です。ACAP の論文公募でも消費者教育分野の話題を扱い入選しました。アド資格は消費者問題の仕事をする上での基盤です。

#### **山口県・40代・30期**

地元の公民館で特殊詐欺の事例を消費生活センター相談員の経験を生かし、消費者庁の HP のイラストや資料を活用して地域住民・高齢者を対象に出前講座を行った。携帯電話に届くアダルト関連の請求詐欺が多く、男女問わず被害者が多くいたので身に覚えのないメールや電話の業者に返信せずに無視するように対処方法を伝えた。訪問販売や勧誘電話に対する対処事例、詐欺ハガキへの対処方法を事例で紹介し、個人情報の厳守を PR した。

#### **三重県・60代・19期・田中 和広**

公務員として勤務していた時に、「食品安全」に関する消費者や関係者とのコミュニケーションに取り組みました。消費生活アドバイザーの資格を取得し退職しましたが、講演を依頼された機会には、生活している消費者の視点から食品安全について話題提供しています。また、消費者が知っておきたい「食や農」について、YouTube に簡単なサイトを作り、対話のネタや一緒に考えてもらえるような切っ掛けを提供しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCg-2Ptgje0OejKArgrYVzpg/videos>

#### **東京都・60代・39期・小平 均**

会社の定年を機に、地方公共団体の消費生活アドバイザーとしての活動をはじめたところです。まだ初心者ですが、やはり、法律(債務整理・相続等)に関する問合せが多く、他団体との格差を感じているところです。

#### **大阪府・60代・32期・藤原 正勝**

私は菓子メーカーに勤めており、所属している消費者対応部門は消費者志向経営推進の役割を担っています。更新研修や NACS のセミナーなどをもとに、部門内にて消費者対応や消費者志向推進のための研修を行っております。また、NACS 西日本支部の運営委員の傍ら、CS 研究会や基礎学習分科会、さらに、消費者志向推進委員会への参加により知見と人脈が広がり、アド活は公私を問わず一步を踏み出す勇気を与えてくれます。

#### **京都府・50代・39期**

消費生活アドバイザー同志の人脈を活用して、「医療と患者の架け橋になる」「医療機関にも患者にもエールを送る」をミッションとしてNPO法人を立ち上げております。ヘルスケア・イノベーション・パートナー・エールと申します。我々医療消費者の「健康リテラシー」をいかに高めていくか模索しております。現在、東京で活動しておりますが、他地域への展開も目論んでおります。ご興味のある方のご連絡お待ちしております。

<https://www.npoyell.org/>

#### **東京都・60代・26期・村井 康弘**

消費生活アドバイザーの資格を取ってからCS(顧客満足)研究会に入り、日本経営品質賞受賞企業等の研究やフィールドワーク等を行って来ました。現在は、標準化(JIS)やエシカル消費のメンバーにも入って活動しています。また、地元厚木市消費生活懇話会メンバーとして、消費生活センターと協力し、消費者問題に関する啓発のチラシを作成し駅前や公民館祭りでのチラシ配布を行っています。

**神奈川県・60代・18期・川井 信友**

長年経済団体で経営者等に支援してきましたが、定年退職後消費生活アドバイザーに合格し、現在県内私立高等学校で教鞭を取っています。3年生の生徒に『ライフスキル講座』という授業を1年通して、社会に出た時最低限必要な知識を会得させることが目的です。その内容は、消費者教育、労働法、金融教育、税のしくみ、ビジネススキル等です。資格を得たことで私自身の『人生二毛作』が実現でき、大いに第二の青春を謳歌しています。

**三重県・60代・40期・北村 慶一**

アパレルメーカーにて店頭販売員を経てお客様相談室で相談員をしておりました。様々なお客様からのご要望は、複雑かつエスカレートした案件が増加していると実感しています。現在は独立し、CSやクレーム対応を主としたコンテンツで研修講師をしています。初期対応の大切さ、企業としての姿勢など消費生活アドバイザーの知識を加え、クレームを大きくしない対応を啓蒙しています。

**東京都・50代・38期**

経済産業省の個人情報保護法執行官の募集の際、アド資格が要件となっていました。高倍率の中なぜか採用となり、法におけるガイドライン作成、法施行、改正法作成等に10年間従事しました。並行しNACS個人情報保護推進委員会委員長として活動中です。事業者目線で国の施策が進む中、アド資格保有者として消費者の意見を的確に伝えることの重要さを感じ、権利利益の保護、透明性の確保、説明責任等を国や事業者に訴えています。

**東京都・60代・21期・篠原 治美**

毎年1回、同期合格者の仲間と集まって親睦を図っています。ショールーム・工場見学・博物館等見学の後、懇親会を実施。情報交換と相互啓発に努めています。今年はコロナ禍の影響でリアルに集まることはできませんでしたが、リモートで近況報告会・懇親会を実施しました。以下「消費生活アドバイザー33期会ホームページ」をご覧ください。

<http://www.sepia.dti.ne.jp/mujoy/asca33.html>

**東京都・60代・33期・坂本 豊**

私は消費生活アドバイザーの資格取得後から18年間、地元のコミュニティ放送のパーソナリティーとして「消費生活相談」という10分間の消費者への啓発番組を担当しています。そしてその番組をきっかけに消費者行政に興味を持ち、10年前に百貨店を退職し、現在は自治体の消費生活相談員として第二の人生を歩んでいます。消費生活アドバイザーという資格が、私の人生に大きな転機をもたらしてくれたのです。

**神奈川県・50代・22期・山田 博康**

残念ながら、今の職務内容(食品会社の開発補助)では活かせていないのが現状です。退職後や今後の時間を割いて地域の高齢者に消費生活のアドバイスをする仕事やボランティアを見つけたいと思っています。

**神奈川県・50代・39期・古沢 浩子**

現在は、不動産会社に勤務し、オフィスビル・賃貸マンション・物流施設等の開発を担務しているため、資格を活用しているとは言い難い状況ですが、消費者やエンドユーザーをお客様とした部署もあり、初心を忘れずにバランスよく常に心がけています。

**神奈川県・50代・14期・桐生 貴夫**

楽器メーカーに勤務するアロマ調香師&ワイン検定講師です。プライベートで「音楽と香りでコロナ禍で疲れた心身に潤いを」と題してピアノ響板やバイオリン表板など音を担う材である北海道のアカエゾマツ精油やベルガモットを使ったワークショップと生演奏の融合イベントを開催。また座学で家庭でのワインの楽しみ方を伝えたり、セパレートされた空間で生演奏を聴きながらの「音楽のあるワイン会」を開催。リラックスいただけました。

<https://wine-expert.jimdo.com/>

**静岡県・50代・20期・神田 一郎**

家族が被害に遭ったのをきっかけに、3年前に資格を取得しました。NHKでアナウンサーの仕事をしているので、消費者月間などの折に、和歌山県消費生活センターの方と一緒に消費者教育の推進を図るべく、テレビで伝えています。先日も、コロナ禍での詐欺をテーマに、ワクチン接種に関連したものなど手口を紹介し、被害に遭わないよう呼びかけました。今後も、放送を通して、1件でも被害を減らせるように力を尽くします。

**和歌山県・40代・38期・安田 真一郎**

人生100年時代「地域」への関心こそが活動領域を広げると確信しています。キャリアの中断も経験し、行政書士・CFP・社会福祉士など守備範囲と専門性を高め、ニーズを掴む現場感覚と相談者への寄り添いを心掛けました。アド資格の深掘りを強みに消費生活審議会委員・生活困窮者相談援助・修学支援(スカラーシップ支援)等関わりは多様です。現在は自治体・関連団体との連携、SDG目標「パートナーシップ」にコミット中です。

**神奈川県・60代・8期・宮本 尚子**

電機メーカーの取扱説明書制作部門に12年間勤務。在籍中にアドバイザー資格を取得し業務に活かしてきました。その後独立しテクニカルライター、学校等でのIT講師、商品モニター活動など多岐に渡り活動中。日々進化するIT製品やサービスを分かりやすく説明し、安心して使っていただくことを主眼にしています。急速に変化する世の中の動きを常にキャッチアップする上でもアドバイザーの幅広い視点が役立っています。

<https://www.happycom.co.jp/2021/04/interview-miho-kurai>

**神奈川県・50代・19期・倉井 美穂**

食品会社のお客様相談室に勤務しております。資格取得のために学んだ消費者関連問題や法律の知識は、現在の業務にかなり役に立っており、また自分自身の自信にも繋がり何事にも積極的に became。また、資格を通じて人脈が広がり、某企業団体の自主研に参加する傍ら、委員会活動や研究所にも所属しています。NACSIにも所属しており、分科会や自主研で知見の高い仲間と活動することで、良い刺激を受けております。

**神奈川県・50代・37期**

現在、消費生活センターの消費生活相談員として勤務しています。NACS 千葉分科会に所属し、これまで「葬儀・お墓・改葬」のテーマについて研究を行ってきました。その成果として支部主催の研究発表会で論文・発表会の発表。研究テーマで得た知識を活かせないかと考え、終活アドバイザーを取得。相談業務の傍ら地域の高齢者を中心に消費者トラブルの啓発講座や葬儀・お墓など終活講座の講師として活動しています。

**千葉県・70代・11期・横岡 宏志**

流通、出版と勤務してきましたが、常に国民・消費者への視点で仕事をしてきました。68歳から73歳の現在まで介護施設で勤務しています。人生百年時代長生きすれば誰もが介護を受ける時代です。自分の介護の失敗体験より、昨年12月に本を出しました。「きっと楽になる家族介護のすすめ」(国民総介護時代の家庭読本)。推薦者は、本を書くように勧めていただいた厚生労働省元事務次官です。資格の理念を生かしました。

[www.zaikai.jp](http://www.zaikai.jp)

**神奈川県・70代・1期・石井 統市**